

時代の先を見据えて



地元生まれ、地元で育ち、地元で貢献する。



地球と共存するサーキュラーエコノミーの実現

ALSOK鹿児島総合警備は、警備業を中核とした事業を提供するリーディングカンパニーとして、地球環境問題が人類共通の課題であるとの認識のもと、基本理念である「士魂報恩」をもって、持続可能な社会の実現を目指します

サーキュラーパーク九州では、九州の「地域循環」モデルをつくり、これを広く共有し世界へ展開します。これまで捨てられていたモノを「資源」として循環させ、原材料の調達と廃棄処分を減らし、脱炭素に貢献します

「ALSOK鹿児島総合警備」と「Circular Park 九州」は、急速なデジタル化の進展に伴う社会変革を見据え、地元の資源循環に取り組むことで地域循環モデルを構築し、地球環境のセキュリティを確保します。

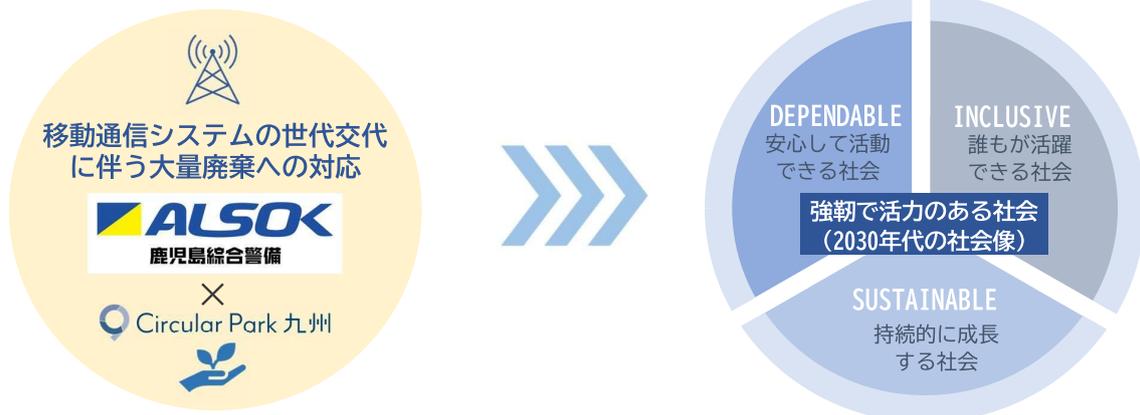
2 「強靱で活力のある社会」の実現に向けて

移動通信システムの世代交代に伴い排出される大量廃棄物への対応

我が国における移動通信システムは、第1世代(1G)から第5世代(5G)まで約10年周期で世代交代が行われてきました。現在は、商用サービスとして4Gが幅広く使用されているとともに、2020年より5Gの商用サービスが開始され、サービスの普及が進みつつある段階にあります。更に、Beyond 5G(6G)は、その次の世代の情報通信インフラとして、国民生活や経済活動が円滑に維持される「強靱で活力のある社会」の実現に向け、2030年代のあらゆる産業・社会活動の基盤となることを見込まれています。

一方、周期的な移動通信システムの世代交代に合わせ、同世代の移動通信システムに対応した設備への切り換えが必要となることから、一世代前の通信設備類が大量に廃棄処分されることとなります。

「ALSOK鹿児島総合警備」と「Circular Park 九州」は、周期的に大量に排出される廃棄物の再資源化を通して、「強靱で活力のある社会」の実現を下支えします。



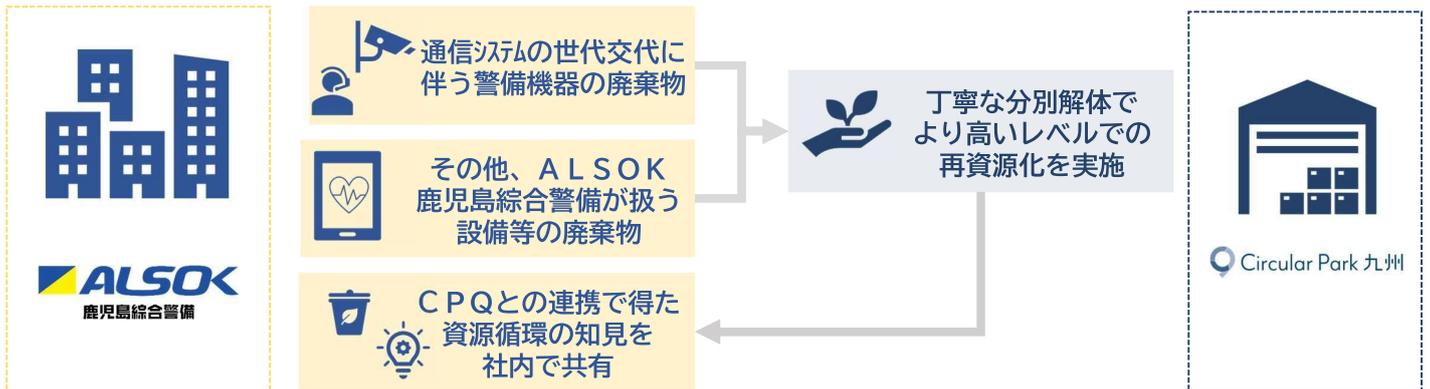
3 資源循環の取組み

通信環境の切り換えに伴う廃棄物等をより高いレベルで再資源化

サーキュラーパーク九州株式会社の資源循環の知見を活用し、ALSOK 鹿児島総合警備の廃棄物を減らし、脱炭素・最終処分場逼迫・資源枯渇等の社会問題解決に貢献します。

また、「ALSOK 鹿児島総合警備」がこれまでSDGsに取り組んできた知見・ノウハウと「Circular Park 九州」の産官学のネットワークを活用することで新たなシナジーを生み出し、更なる取組みにチャレンジします。

〈イメージ〉



4 九州・全国への展開

「ALSOK 鹿児島総合警備」と「Circular Park 九州」の取組みを九州・全国に！

ALSOK 鹿児島総合警備とサーキュラーパーク九州は、今回の資源循環の取組みによって、地元鹿児島島の地域循環モデルを構築し、九州・全国の警備業に展開していきます。

